

令和3年度学校教育自己診断（生徒）

■よくあてはまる ■ややあてはまる ■あまりあてはまらない ■まったくあてはまらない

問21. 学校で、事件・地震や火災などがおこった場合、どう行動したらよいか、知らされている。



問18. 命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある。



問15. 学校は、奨学金制度についての情報を知らせてくれる。



問19. 人権について学ぶ機会がある。



問20. 学校で、男女は平等に扱われている。



問14. 将来の進路や生き方について考える機会がある。



問4. 先生は生徒の意見を聞いてくれる。



問7. 教え方に工夫をしている先生が多い。



問9. 悩みや相談に親身になって応じてくれる先生が多い。



問3. この学校には、他の学校にない特色がある。



問10. 先生はいじめなど私たちが困っていることについて真剣に対応してくれる。



問8. 授業でわからないことについて、先生に質問しやすい。



問16. 文化祭や体育祭などの学校行事は楽しく行えるよう工夫されている。



問11. 担任の先生以外にも保健室や相談室等で、気軽に相談することができる先生がいる。



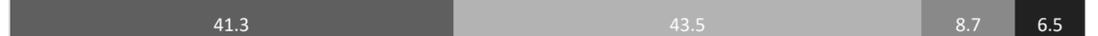
問24. 先生は他の人に知られたくない秘密を守ってくれる。



問13. 学校では、生活規律や学習規律などの基本的習慣の確立に力を入れている。



問23. 他の先生が授業を見学に来ることがある。



問5. 授業はわかりやすく楽しい。



問12. 学校生活についての先生の指導は納得できる。



問2. 自分の学級は楽しい。



問17. 生徒会活動や部活動は活発である。



問22. ビデオ、プロジェクターなどの視聴覚機器や1人1台端末などを使う機会がよくある。



問1. 学校に行くのが楽しい。



問6. 授業で自分の考えをまとめたり、発表する機会がある。

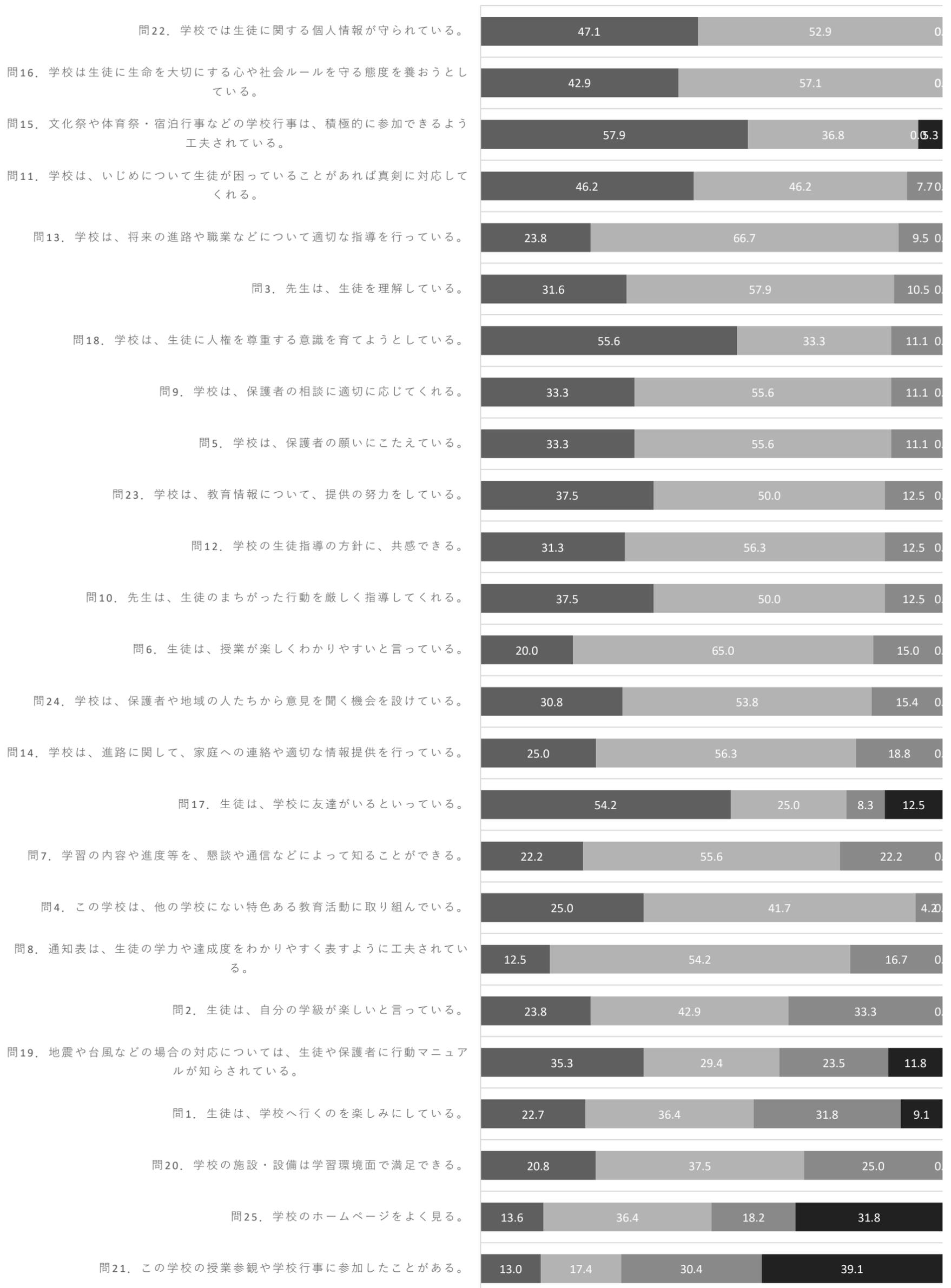


問25. 学校のホームページをよく見る。



令和3年度 学校教育自己診断 保護者用

■よくあてはまる ■ややあてはまる ■あまりあてはまらない ■まったくあてはまらない



令和3年度 学校教育自己診断結果について

- 今年度、生徒・保護者の設問数に関して大幅な見直しを行い、より集中して回答できるようにした。（設問数 生徒50⇒25 保護者45⇒25）
- 「よくあてはまる」「ややあてはまる」の肯定的回答の合計の割合が高いものから順に並べた。

○生徒の回答の下位3項目について

「学校に行くのが楽しい」R2年度69.0% ⇒ R3年度74.5%

「授業で自分の考えをまとめたり発表する機会がある」R2年度47.0% ⇒ R3年度58.8%

「学校のホームページをよく見る」R2年度46.0% ⇒ R3年度37.5%

- 令和2年度は遠足・体育祭・修学旅行といった行事を全て中止としたが、令和3年度は修学旅行を除き全て実施した。また、1人1台パソコンにより自分の考えをまとめる機会が増えた。学校のホームページは緊急連絡に用いることが多く、日ごろの連絡は各担任が丁寧に連絡しているため、数値は低いものとなっているのではないかと考えられる。学校行事の写真等を掲載し、更新頻度を上げることによって閲覧数は上昇する可能性もあり、今後検討を進める。

○保護者の回答の下位3項目について

「学校の施設・設備は学習環境面で満足できる」R2年度83.0% ⇒ R3年度58.3%

「学校のホームページをよく見る」R2年度57.0% ⇒ R3年度50.0%

「この学校の授業参観や学校行事に参加したことがある」R2年度55.0% ⇒ R3年度30.4%

- 令和2年度に「この学校の授業参観や学校行事に参加したことがある」と回答した保護者は令和元年度以前の入学生徒の保護者であると考えられる。令和2年度の授業参観・体育祭・文化祭は中止しており、令和3年度の体育祭・文化祭は実施したが保護者の来場は遠路いただいたため、学校行事に参加できる環境はなく、1学年分、保護者の参加者は減少している。これにより、学校の設備を見る機会が少なく、満足を得られることができなかつたと考えられる。また、ホームページについては生徒の結果と同様であると考えられる。